

河上清 カミヤキヨシ 評論家。明治二十八年八月、岡山形原生れ。昭和二十四年

十月十一日没（六十三歳）。初名喜下雄七。筆名河上登陵、三浦清生、

陵生上等。東京法政学院卒。明治二十一年『萬朝報』記者。社会主義研究会

會、社会主義協會、社会民主党に参加。のちアメリカに渡りワシントン

に住居。日本紙の特派員業務のほか、米英の雑誌にも寄稿。

著書『THE POLITICAL IDEAS OF MODERN JAPAN』(KARL KIYOSHI KAWA-

KAMI) 明治二十八年六月十五日(愛華房)、『日本米問題戦争の平和の』(合

著・世界思潮研究会譯・野澤源之丞編、大正十年四月、二十五日世界思

潮研究会、日本評論社出版部發賣)、『THE REAL JAPANESE QUESTIO-

NS』(R. K. KAWAKAMI) 1921. NEW YORK. THE MACMILLAN COMPANY) 、

『米ソ戦わば?』(祖國日本に訴う) (昭和)二十四年二月、二十日日本通

信社) 等。

